

梅ノ辻クリニックは、頭痛に力を入れているクリニックとして、皆様に頭痛のいろいろな情報を提供してゆきたいと思います。



トピックス



群発頭痛・・・1~2ヶ月集中して頭痛が起きる変わった頭痛

頭痛の中には頭痛の起き方に特徴的な頭痛があります。**群発頭痛**はそれが特徴的で、普段は頭痛はないのですが、ある一定の期間約1~2ヶ月、毎日のように集中して頭痛が生じます。この期間を過ぎると1~2年間はうそのように頭痛はなくなります。この頭痛はとても強いもので、目の奥をキリでえぐられると表現されるほど、頭痛の中でももっとも強い頭痛にランクされます。夜中に起きることも多く、痛みで転げまわります。一定時期に地震が続けて起こる群発地震のように群発頭痛といわれます。この頭痛は頭痛以外に、涙が出る、鼻水が出るなどの特徴があります。アルコールを飲むとてきめん頭痛が生じます。かつてはほとんどの鎮痛薬が効かなかったので、酸素を投与したり、ただひたすら我慢することが多かったのです。しかし最近トリプタン製剤、とくにイミグランの注射が劇的に効くことで、群発頭痛の患者さんも本当に助かることが多くなりました。さらに昨年よりは自宅で注射できるイミグランキットの自己注射剤が処方可能となりました。痛いときは病院にはなかなか来れないので、自宅で自分で注射できるありがたさを身をもって体験されている方もあります。イミグランの点鼻薬もかなりの方に効きます。かつてに比べると頭痛治療も大きな進歩を遂げているのです。

■ 頭痛相談 Q & A

30歳代男性の質問

Q：私の頭痛は1ヶ月に1~2回ある頭痛と、1ヶ月ほど続けて生じる強い頭痛があります。違う頭痛のように思いますが、どのように考えたらいいのでしょうか。

A：詳しく頭痛の様子を聞かなければ、はっきり言えませんが、月に1~2回の片頭痛と、1ヶ月連続して生じる群発頭痛の両方の頭痛を持っていることが考えられます。このように異なった頭痛をもっていて、それぞれが別々に起こることは時々見られます。とくに群発頭痛はある年齢になってから急に始まり、最初は群発頭痛と診断できないことがあります。中年男性に多いといわれますが、女性の方もたくさんいらっしゃいます。2種類の頭痛を持っておられる方は、どちらの頭痛かを診断でき、治療に向かうことが求められます。

■ 頭痛に悩んだ人びと

聖パウロ (キリスト教伝道者)

パウロには頭痛に関する記述があります。「身中のトゲ」と自身が表現する繰り返し起こる痛みがあり、彼はこの痛みを「悪魔からの使い」とも表現していました。パウロは熱心なユダヤ教徒の家庭に育ったため、はじめはキリスト教を迫害する立場にありました。キリスト教迫害に赴く旅の途中、突然閃光のなかでイエスの呼びかけの声を聞きますが、これが使徒召命の劇的な体験となり、キリスト教に改宗します。このときの閃光を片頭痛の前兆、繰り返し起こる痛みを片頭痛と解釈するひともあります。

(頭痛大学HPによる)